

一般社団法人 多文化社会専門職機構 2020年度事業報告書

I. 全体運営

2020年度は本機構が設立されて3年度目（任意団体設立時から4年度目）を迎えた。本機構では、2018年度からの3年間の目標を「中期テーマ」として下記のとおりに掲げてきた。

○ 中期テーマ「2020年以降を見据えた基盤整備」（2018-2020年度）

- ⇒ 組織基盤の強化
- ⇒ 安定的な事業展開（認定・実践研究・社会発信の各事業を有機的に関連させ、安定的な実施を図る）
- ⇒ 組織基盤強化・安定的な事業展開を通じた社会的認知度の向上

上記の中期テーマをふまえ、2020年度は多文化社会コーディネーターに関する研修を実施すること、および相談通訳者の認定試験を実施すること、各事業を通じて各分野の多文化社会専門職とのネットワークづくりを図ることを目標とした。

1. 総会の開催

日時： 2020年6月28日（日）16:00-17:00

方法： オンライン（ZOOM）

議案： 第1号議案 2019年度収支決算書承認の件

出席者： 12名（その他、書面による議決権行使6名、代理人による議決権行使10名）

2. 理事会の開催

○ 第1回理事会

日時： 2020年5月24日（日）13:00-15:00

方法： オンライン（ZOOM）

議案： 下記審議事項について協議し、承認された。

第1号議案 2020年度事業計画について

第2号議案 2020年度総会議案について

出席者： 理事8名、監事2名

○ 第2回理事会（臨時開催）

日時： 2021年2月8日（月）20:00-21:00

方法： オンライン（ZOOM）

議案： 下記審議事項について協議し、承認された。

第1号議案 文化庁「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」の申請について

出席者： 理事8名、監事2名

○ 第3回理事会

日 時： 2021年3月22日（月）19：30-22：00

方 法： オンライン（ZOOM）

議 案： 下記審議事項について協議し、承認された。

第1号議案 2021年度事業計画について

出席者： 理事10名、監事2名

II. 事業

多文化社会専門職機構の事業は認定事業、実践研究事業、社会発信事業を3つの柱とし、各事業の下でプログラム(活動)を展開した。各事業は担当理事が助言等を行うとともに、運営委員はプログラム・コーディネーターとして各プログラムを実施した。2020年度は下記のとおり事業を実施した。

1. 認定事業

多文化社会の問題解決を通じて「多文化共生」社会の実現に貢献する専門職として、相談通訳者の認定事業を行った。

1-1. 多文化社会コーディネーター認定プログラム

2020年度は「多文化社会コーディネーター協働実践研修2020」を実施したため、認定試験は実施しなかった。

1-2. 相談通訳者認定プログラム

2019年度に続き第2回相談通訳者認定試験をタガログ語、ネパール語、ベトナム語の3言語で実施し、下記4名を認定した。

担 当 理 事 : 阿部裕

コ ー デ ィ ネ ー タ ー : 新居みどり

メ ン バ ー : 中村亮、岩田久美、高田友佳子、新居みどり、三木紅虹、宮城京子、山浦育子

試 験 日 時 : 2020年10月18日(日)9:00-17:00

場 所 : サンパール荒川(東京都荒川区荒川1-1-1)

応 募 者 : 6名

認 定 者 : 4名

DO NGOC BICH TRAM(ベトナム語)

大谷崇(ネパール語)

Subarna Lata Tuladhar(ネパール語)

DANGOL GANGA DEVI(ネパール語)

実 施 日 程 : 募集期間 2020年8月31日(月) 応募締切(消印有効)

一次審査 2020年9月下旬 1次試験合否発表

二次審査 2020年10月18日(日)

認定証授与 2020年12月6日(日) 認定書交付

2. 実践研究事業

将来にわたって多文化社会コーディネーターを輩出していくため、養成プログラムを実施する。参加者を公募し、協働での省察を軸とする実践研究会を開催した。

担 当 理 事 : 山西優二
コーディネーター: 菊池哲佳
メンバ ー : 菊池哲佳、小山紳一郎、高柳香代、長尾晴香、野山広、松尾慎、
松岡真理恵、萬浪絵理、山西優二
日 時 : 2020年8月22日(土) 13:00-17:00
2020年8月23日(日) 13:00-18:00
2020年11月14日(土) 10:00-17:00
2021年2月20日(土) 10:00-17:00
方 法 : オンライン(ZOOM)
対 象 : 自治体、国際交流協会、NGO、日本語教室、学校教育・社会教育、
企業などで多文化に関する実践に取り組む組織の中堅スタッフ。
参 加 者 : 15名
成 果 : 2021年7月に各自が執筆した「実践研究論文」もしくは「実践研究報告」
(またはその要約)を、多文化社会専門職機構ウェブサイトに掲載予定。

3. 社会発信事業

多文化社会の問題解決に携わる専門職の社会的認知向上と、専門職どうしのネットワークづくりを目的に、下記のプログラムを実施した。

3-1. 多文化社会実践研究フォーラム

本機構の事業や成果を社会に広く発信する場として、また実践者と研究者が対話を通じてネットワークを形成する場として毎年度1回開催する。2020年度は2019年度に新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した内容を踏襲して実施した。

テーマ: 多文化社会における市民活動を問う

日 時: 2020年12月6日(土) 10:00-16:00

方 法: オンライン(ZOOMウェビナー、ZOOMミーティング)

参加者数: 123名

参加費: 一般 2,000円/会員 1,000円

内 容: ○ 全体会 I

挨拶・趣旨説明

野山広(多文化社会専門職機構代表理事)

パネルトーク「多文化共生社会に向けた市民活動の展望」

安本大輔(東京出入国在留管理局審査管理部門受入環境調整担当統括審査官)

松原明(シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 元代表理事)

伊東祐郎(日本語教育推進関係者会議委員)

進行: 奈良雅美(アジア女性自立プロジェクト)

○ 分科会

- ① 福祉「福祉から多文化社会における市民活動を問うーコロナと市民活動と新しい挑戦」
 天谷都紀子（狭山市社会福祉協議会）
 コーディネーター：新居みどり（国際活動市民中心）
- ② 医療「医療から多文化社会における市民活動を問うー相談センターの現場から考える コロナ禍における「相談通訳者」の役割」
 村田陽次（東京都生活文化局都民生活部地域活動推進課課長代理（活動支援国際担当））
 宮城京子（AMDA／相談通訳者）
 コーディネーター：阿部裕（四谷ゆいクリニック）
- ③ 人権「人権から多文化社会における市民活動を問う」
 長澤正隆（北関東医療相談会理事／事務局長）
 コーディネーター：中村亮（弁護士）
 高柳香代（多文化共生ネット・九州）
- ④ 教育「教育から多文化社会における市民活動を問う」
 田中宝紀（NPO 法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部責任者）
 コーディネーター：山西優二（早稲田大学）
- ⑤ 労働「労働から多文化社会における市民活動を問う」
 鳥井一平（移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事）
 コーディネーター：松岡真理恵（浜松国際交流協会）
- 全体会Ⅱ
 分科会報告・ディスカッション
 新居みどり、阿部裕、中村亮、山西優二、松岡真理恵
 コーディネーター：青山亨（東京外国語大学）
 閉会あいさつ
 青山亨（多文化社会専門職機構副代表理事）

3-2. ウェブサイト運営

ウェブサイトでは当機構や当機構が認定する専門職、当機構が実施する事業を紹介し、それらの社会的認知の向上を図るとともに、本機構の取り組みを参加・協力する人々のすそ野の拡大を図った。また、会員によるコラムを掲載し、多文化社会の課題等について発信した。

担当理事：青山亨

コーディネーター：高柳香代

コラム掲載：2020年7月7日「多文化共生社会における「対話」をめざした日本語ボランティア活動」（伊東祐郎）
 2020年8月26日「NPOのコーディネーターは面白い！？」（新居みどり）
 2020年9月17日「こころの医療と相談通訳」（阿部裕）
 2020年10月26日「相談通訳者として多文化共生社会に貢献すること」

(三木紅虹)

2020年12月25日「地方都市で多文化化・多様化と向き合い続けて」

(高柳香代)

2021年1月18日「弁護士会の外国人事件対応・最前線」(関聡介)

2021年3月10日「ジェンダーと多文化共生」(松岡真理恵)

2021年3月31日「多文化共生って、なんなの？」(大久保和夫)

4. その他本機構の目的を達成するために必要な事業

コロナ禍を踏まえ、オンラインでの講座をシリーズで実施した。また多文化カフェを開催した。

4-1. オンライン講座「多文化社会へのまなざし」

担 当 理 事 : 山西優二

コーディネーター : 菊池哲佳

概 要 : 多文化社会の各分野の一線で活動する実践者・研究者による講義。講義後、参加者との質疑応答を通じて理解を深める。

期 間 : 2020年9月9日(水) - 30日(水)の期間の6回
(講義40分間+質疑応答とディスカッション45分間)

方 法 : オンライン

対 象 : テーマに関心のある方。

定 員 : 各講座25人(先着順)

参 加 費 : 1講座あたり1,500円(多文化専門職機構会員1,000円)

実 績 : 第1回 2020年9月9日(水) 19:30-21:00
「今日の多文化精神医療の課題と展望」(阿部裕)
参加者25名
第2回 2020年9月12日(土) 19:30-21:00
「学校における多様性の価値を探る」(藤川純子(ゲスト)・小山紳一郎)
参加者30名
第3回 2020年9月16日(水) 19:30-21:00
「「文化」「多文化」「多文化共生」とは」(山西優二)
参加者25名
第4回 2020年9月23日(水) 19:30-21:00
「日本に住む外国とつながりのある人々の健康ニーズと対応への課題」(岡本美代子)
参加者21名
第5回 2020年9月26日(土) 19:30-21:00
「多文化共生をテーマとする演劇活動の意義および設計のポイント」

(飛田勘文)

参加者 22 名

第 6 回 2020 年 9 月 30 日 (水) 19:30-21:00

「多様な背景を持った地域住民の言語生活と将来設計再考～日本語の習得、摩滅、喪失の過程を視野に入れつつ～」(野山広)

参加者 25 名

4-2. 対話の場づくり「多文化カフェ」

担 当 理 事 : 菊池哲佳

コーディネーター: 北村祐人

概 要 : 「Next Generation Talk vol.1 -わたしを変えたヒトとコト-」
愛知県岡崎市で活動する長尾晴香さんに現在の活動にたどり着くまでのキャリアややりがい、子育てとの両立などについての話を伺う。

日 時 : 2020 年 10 月 10 日 (土) 14:00-15:00

方 法 : オンライン (ZOOM)

定 員 : 30 人

参 加 費 : 参加費: 会員 1,000 円 非会員 1,200 円

実 績 : ゲスト: 長尾 晴香 (Viva おかざき!! 代表)
ホスト: 高柳 香代 (多文化共生ネット・九州 主宰)
参加者 30 名

Ⅲ. 組織体制

○ 会員一覧（2021年5月31日現在36名。敬称略）

青山 亨

浅井 里依子

阿部 裕

石川 秀樹

伊東 祐郎

井上 洋

指宿 昭一

岩田 久美

大久保 和夫

岡本 能里子

岡本 美代子

亀井 玲子

菊池 哲佳

小山 紳一郎

斉藤 雄大

左治木 敦子

関 聡介

高田 友佳子

高柳 香代

土井 佳彦

長尾 晴

中村 亮

奈良 雅美

新居 みどり

野山 広

飛田 勘文

ベティーナ・ギルデンハルト

松岡 真理恵

松尾 慎

萬浪 絵理

三木 紅虹

宮城 京子

矢部 まゆみ

山浦 育子

山西 優二

渡戸 一郎

○ 役員（2021年5月31日現在。敬称略）

代表理事：野山 広（国立国語研究所）

副代表理事：青山 亨（東京外国語大学）

阿部 裕（四谷ゆいクリニック）

山西 優二（早稲田大学）

理事：伊東 祐郎（国際教養大学）

大久保 和夫（国際活動市民中心）

菊池 哲佳（仙台多文化共生センター）*事務局長

中村 亮（弁護士）

新居 みどり（国際活動市民中心）*事務局次長

三木 紅虹（中国語医療通訳）

監事：関 聡介（弁護士）

奈良雅美（アジア女性自立プロジェクト）

○ 運営委員会・事務局

運営委員会 菊池 哲佳（仙台観光国際協会）*事務局長

高柳 香代（多文化共生ネット・九州）

長尾 晴香（Viva おかざき！！）

新居 みどり（国際活動市民中心）*事務局次長

松尾 慎（東京女子大学）

松岡 真理恵（浜松国際交流協会）

萬浪 絵理（千葉市国際交流協会委嘱日本語教育コーディネーター）